

第3回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

開催日：令和4年6月29日
会場：荻窪中学校

『みんながしあわせを感じられる学校』とは？

「杉並区教育ビジョン2022」で、私たちが大切にしたい教育として「みんなのしあわせを創る杉並の教育」を掲げていますが、今回の意見交換会では荻窪中学校の3年生が学校運営協議会委員や教育委員会事務局の職員と一緒に、みんながしあわせを感じられる学校とはどんな学校なのかを考えながら、これからの学校生活に向けた思いを話し合いました。



冒頭小澤校長より、「社会の担い手になってほしい」という生徒への思いが語られました。



各グループには学校運営協議会委員または教育委員会の職員が1人入り生徒の意見を聞かせてもらいました。

①学校でしあわせを感じる時はどんなとき？

最初に今までの学校生活の中で、楽しかったことや嬉しかったことなどを思い出しながら、学校でしあわせを感じる場面などを考えました。円型のホワイトボードをグループみんなの膝の上に置き、それぞれが思いつく「しあわせな学校」を書き出していきました。

「休み時間」「給食の時間」「部活動の時間」にしあわせを感じるという意見が多く挙がり、「友達やまわりの人のおかげでしあわせを感じる事ができている」や「何気ない日常がしあわせ」と話す生徒が多くいました。



どのグループも、ホワイトボードが生徒の意見であっという間に埋め尽くされました。

②みんながしあわせに思える学校は？

「どんな学校ならもっとしあわせになれるか。」「みんながしあわせに思える学校にするために、自分たちは何をするのか。」などグループそれぞれが、自分たちで話し合いを展開していきました。あるグループでは、「友達と一緒に過ごすことにしあわせを感じる人が多いのだから、みんなで何かをする企画を考えていけばいいのでは」と考える中で、「一人でいることが好きな人もいるのではないかな」と投げかける様子があり、「誰一人取り残さない」という生徒の思いを感じました。

③各グループの発表

20分間のグループワークを終え、各グループが話し合った内容を発表しました。

「自分たちが先輩にしてもらって嬉しかったことを後輩にしてあげたい」など、自分のクラスや学年だけでなく、学校全体のためにどんなことをするかという意見が多く出ました。

「意見箱に出された意見を知りたいからみんなで共有させてほしい」など、自分たちで学校をつくっていきたいと思いを伝えるグループも多くありました。

また「体育、音楽など実技科目の時間が多いといい」「授業中に意見交換する時間が欲しい」「自習室があるといい」といった「学ぶこと」についての具体的な要望も多くグループから出ました。



タブレットを使い、ホワイトボードの内容をスクリーンに映しながら発表をしました。



授業の最後に、教育長が生徒の意見を聞いて感じたことを伝えました。

④教育長から

みなさんがたくさんの意見を出し合っている様子を素晴らしいと思いながら見ていました。意見を言うということはとても大切なことです。人類は意見を言い合って発展してきました。さらにもう一つ大切なことがあります。それは相手の意見を「尊重する」ことです。みなさん、自分の意見が誰かに否定されたら嫌な気持ちになりますよね。友達と意見を交わす時は、友達の気持ちや意見を「尊重する」ことを大切にしてください。

意見交換会を振り返って

今回の話し合いは「学校でしあわせを感じる時はどんな時か」を考えるとところからスタートしました。そこからの議論の展開は生徒自身が決めていました。荻窪中学校が「しあわせを感じられる学校」になるための課題や解決方法などを、生徒が進んで考えていました。「杉並区教育ビジョン2022」では「子どもも大人もすべての人が教育の当事者」としていますが、自分たちが学校をつくる当事者であるという意識が生徒の中に育っているのだと感じました。

また、荻窪中学校の3年生はコロナ禍とともに中学校生活を過ごしてきました。そのため、今まで学校外の人と交流する機会が持てませんでした。そのような中でも、今回の意見交換会では、学校運営協議会委員や教育委員会事務局の職員に対して、自分の意見を丁寧に伝えようとしてくれた生徒の姿が印象的でした。

第3回「杉並区教育ビジョン2022」意見交換会 報告書

- ・開催日 令和4年6月29日
- ・参加者 荻窪中学校3年生・学校運営協議会委員

令和4年7月 編集・発行 杉並区教育委員会 庶務課

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号 電話 03-3312-2111